

## 第12回グリーンプランおおた推進会議議事概要

日 時：平成27年3月16日（月曜日） 18:00～20:00

会 場：消費者生活センター大集会室

出席者：【推進会議委員】島田委員長、池邊委員、長谷川委員、原田委員、龍口委員、  
谷委員、樋口委員、平澤委員、牧野委員、川野委員、八嶋委員、佐藤委員（欠席2名）  
【庁内委員】関係各課長8名（代理2名）  
【傍聴者】1名  
【事務局】5名（株）総合環境計画2名

配布資料：次第、委員名簿、席次表

資料1 第11回グリーンプランおおた推進会議議事概要

資料1-2 第11回グリーンプランおおたご質問・ご意見回答表

資料2 グリーンプランおおた推進スケジュールイメージ

資料2-2 グリーンプランおおた推進スケジュール抜粋

資料3-1 グリーンプランおおた重点施策の課題

資料3-2 グリーンプランおおた目標の追加について

資料 パワーポイント画面

- 1 開会
- 2 事務連絡
- 3 挨拶（島田委員長）

#### 4 議事

##### （1）第11回推進会議の振り返り

（資料1-1、資料1-2説明）

<事務局より議事録等の確認>

資料について確認

##### （2）平成27年度以降のスケジュール

<事務局より資料2、2-2の説明>

スケジュールについて確認

#### 【質問・意見等】

##### 委員

・中間見直しというのはどんなイメージなのか？

→説明は三番目の議事で予定しておりますが、「グリーンプランおおた」は推進会議の委員の皆さまのご提言をいただいて作って参りました。平成25年度には国内の優良な緑の計画最優良事例22に選ばれております。

- ・施策単位で見ますとこの4年間で33のうちB以上の評価を80数パーセント達成しており、施策の根幹に係る重大な問題点はないと思っております。
- ・ただ、「活動団体の皆さまとの関係のあり方とか区の役割について」「事業、施策が非常に多岐にわたっていて分かりにくい面」「緑の施策に関してこの間さまざまな検討が色々な自治体、あるいは団体の中で進んできている新しい動き」などについて、本推進会議でのご意見を受けながら、変えるべきところは改善を盛り込んでいきたいと考えております。

#### 委員長

- ・このスケジュールでよろしいか（一同承認）

#### 委員

- ・ちょっと気になるのは、グリーンプランの推進状況が区民にいかに見えているか？という点。見えないところがあれば原因はなぜか検討する必要がある。
- ・（方法として）大掛かりなアンケートと言うよりは、モニター、地域別に少しヒアリング、事業をやっている方に実際どうですかという事を聞き、それを次の案に反映させていくような事が出来ればいい。

#### 委員長

- ・周知度を分かって進める方が有効になると思うので、是非よろしくお願ひしたい。

### (3) グリーンプランの中間見直しについて

<事務局より資料3-1 説明>

#### 【質問・意見等】

#### 委員長

- ・○委員の質問とも関連するが、中間見直しでは大幅に変えるつもりはない。しかし、出来るだけ意見を拝聴しながら変えるべきところは変える、そういう主旨ですね。
- ・はい、今日はその第一歩と考えています。

#### 委員長

- ・総合と、基本方針の1について、今まで大田区でやられてきた事、成果、それから今迄の会議の中で中間での見直しに向けた課題、改善案等を整理した表があります。資料3-1の、課題改善案についてご意見を頂きたい。

#### 委員

- ・庁内では事業を廃止する発想は無いのですが、事業と施策がかなり多岐にわたっているというのが、我々が検討して感じた事です。
- ・例えば、行動方針の1の「1平方メートルの緑づくり」の「マイ花壇づくり」は事業として重なる部分が多いが「1平方メートルの緑づくり」、「18色の緑づくりの支援」で分

けて事業評価すると、区民の皆さんにとっては一緒に取り組んでいるのに見えにくい、施策と事業のあり方を若干内部的に検討させていただいてもよろしいですかという提案です。

#### 委員

- ・(施策を) ある程度統合していくのも良いと思う。18色の緑づくりも本来的には、私有地の施策なのではないか。個人的には「マイ花壇」より「まちかど」の方がまだわかりやすい。
- ・18色(の事業)は、マンションでも沿道から見える所に置いて頂いていて、皆さん頑張っているなどわかる。更に“さあ皆さんマイ花壇を作りましょう”となると負担になり、混乱しないかが心配です。

#### 委員

- ・グリーンプラン策定当初は、「まちかど花壇」は民地の緑、「花街道」と「ふれあいパーク」は公共の緑、という形で分けて計画を立てました。ところが、「まちかど花壇」という呼び方は「ふれあいパーク」とイメージが重なるという意見が内部で出まして、一旦(仮称)「マイ花壇」という事で今回上げさせていただいたところです。
- ・「18色のみどりづくり」は、ふれあいパークとの連携や区の建物での地域の花植え、企業の皆さんのご協力、さらに学校も協力しているところもあるという様に、大きな動きになって来ています。現場では18色の緑づくりが当初目指したものより大きく広がっていることは、充分認識しております。中間の見直しの時には皆さんのご意見を頂きながら、検討して頂ければと考えています。

#### 委員

- ・コンテストは、優劣を問う訳でなく、他の地区を見る機会にして、皆で投票、あるいは好きな公園の写真展をする。そうすれば手の挙がらない公園はリニューアルした方がいいとか、あまり愛着がない公園とか事務局で判断できるなど、様々な使い方が出来る。単純に景観賞で緑部門の設置では、(緑化推進などの)モチベーションには繋がらない。大田区の緑や施策の成果を見て頂く機会に使ってほしい。
- ・(蒲田・大森グランドデザイン) 策定当初に、例えば大森と蒲田駅前が汚いという話題があったが、駅前花壇を頑張ってみてそこを表彰してみるとか、18色の緑づくりのモチベーションに繋がるような形での表彰のように考えれば、事務局が改めてやるという事でもなくとも良い。
- ・景観賞と込みにして、ただ大田区の緑のきれいな写真だけが出てきても、あまり意味がない。

#### 事務局

- ・説明が不足で補足しますと、「景観賞」では、「景観」だけではなくて、「景観づくりに取り組んでいる団体や活動の表彰」という部門も設ける方向で検討中です。副委員長が言

われた「多くの方に見て頂く、活動のモチベーションに繋がる」という点では共通点があると思います。

#### 委員

- ・表彰と言うより頑張っているねと褒めるべき対象を見つけに行くことが大事。大田区の環境保全課と一緒に「環境フォーラム」というイベントを開催した。その中で、参加者の皆さんと「この団体の一押し」を見つけて、「なんとかだっただけで賞」みたいな感じの表彰をして、私達が選んだ大田の一押しの名産をプレゼントというささやかな取り組みをやった。
- ・他の所を見に行く機会につながるような、「お互いに切磋琢磨、励ましたり、知恵を分けあうきっかけになるような表彰」であるとすごく良いと一区民としては思う。

#### 委員長

- ・「顕彰」ですかね、「表彰」でなくて、日本語で言うと、顕彰という言葉がありますね。

#### 委員

- ・18色の緑づくりが上手く運営されているので、それを他の項目にからめていけば良いのではないかと。大規模な開発の緑化基準には、花壇とか花とかは条例では該当しない。例えば大田区の場合道路（沿道緑化）には、18色の花を推奨するなど、（緑化計画）に緑の条例だけではなく、18色の話もからんできて、連続性をもたせることが出来ると思う。

#### 委員

- ・すごく良いご提案をいただきましたので、18色の緑にご協力いただけるように、どんな手法が良いか考えてみたいと思います。またその案が出来ればご紹介いたします。

#### 委員

- ・私は商店街の代表で出ているが、一般的な商店でいうと、プランターは置けない。どうすれば、これに協力できるのか

#### →都市基盤施設担当課長

- ・大田区の道路は狭いので、物を置くと引っかかってしまいます。
- ・環境フォーラムで、蒲田中学の中学生さんが発表されましたが、呑川のフェンスに2Lのペットボトルを切って植えたのを100本以上掛けて世話をしています。
- ・（河川は）区が管理しておりますので、行政と打合せしながらやっています。
- ・そんな風に工夫すればまだまだ出来る所はあるのかなと思います。
- ・道路管理者とどこまで出てよいのか相談する必要はあるのですが、このような場で盛り上がり、道と店との間のグレーゾーンを緑ゾーンに変えていけると考えております。

#### 委員

- ・商店街というのは、非常にお客さんが多彩で、非常に怖い。補償しろとか、そういう権利

意識が非常に強くて、緑を増やし花を植えるという事は、時期的に持たないものもある。

- ・緑なのか、花なのか、何をもってグリーンプランなのか

#### →事務局

- ・グリーンプランは、花や樹木といった植物だけでなく、水辺なども含め、緑化基準や緑化指導という、従来のイメージよりは広く考えているというのが計画です。

#### →産業振興課長

- ・商店街でも田園調布や久が原などで、地域の皆様との連携で植栽をお手伝いしているところがございます。
- ・区の産経部としても、お客様を呼び寄せるための手段や、地域活動の連携という部分でのご支援をさせて頂こうと、新規に予算計上しました。
- ・地域の様々な課題の解決に対する商店街の活動（環境エコ関連事業等）で区が機能的な応援をする、この会議とも連動しながら進めたいと思っております。そういう活動を出来る所から、出来る場所で進めていくことが、地域の盛り上がりにつながると思います。

#### 委員

- ・この運動に対して花があった方が良さだろうし、やるべきことだという事はわかる。ただ、維持に経費がかかることも現実だ。
- ・商店街はスペースがない。駅前で花壇にすれば良いと思うところを、囲っているところもあるので、行政から指導があればと思う。その辺もご協力いただければ嬉しい。

#### 委員長

- ・基本方針の3と4についてのご意見はいかが。

#### 委員

- ・3ページの42番。呑川の水質浄化対策で評価がBになっているが、少し甘いのではないかと。一番大事なのは呑川の上流の関係。他区との話がどのくらい進んでいるのか、上流の対策、他区との対策がどの辺まで進んでいるかお聞かせ願いたい。

#### →都市基盤施設担当課長

- ・他区との関係ですが、東京都の仲立ちで、世田谷と目黒の一部も入って、浄化対策研究会も実施しております。
- ・上から流すものを減らす働きかけと、水質浄化について、スカム発生抑制装置を強力なものに変えました。
- ・高濃度酸素水（装置）もパワーアップし、調査委託をして容量の少し多いものを実証実験からもう少し進んだ形でやります。
- ・下水流入対策もきちんとやっております。

#### 委員

- ・大田区はこれだけお金をかけて、水質浄化をしている訳で、問題は上流の人達が汚い水を流す、これへの対策が見えないところだ。

#### →都市基盤施設担当課長

- ・上流の呑川流域というのは世田谷とか目黒とかがありますので、そこの自治体の人と話しています。
- ・大雨時に汚いものを流すと川に流出することを、色々な形でPRしてくださいと継続して言っています。
- ・下水処理能力の超過による流出を防ぐため、都の下水道局と貯留施設の設置や高速濾過システムを考えています。
- ・下水が河川に流入する手前に浄化機能を持ったものを道路へ埋設することも考えており、実験的に導入しようと東京都の下水道局に働きかけているところです。合わせ技一本を目指して頑張っております。

#### 委員

- ・一生懸命ですけど、これは管理維持。呑川の所管は東京都。呑川で3区が合流して、大田区での距離が長くて、一番被害をこうむっている、話合いがなされているのか危惧している。

#### →都市基盤施設担当課長

- ・東京都にも入っていただいて、上流自治体とともに浄化研究をやっております。話合いは今後も進めて参ります。

#### 委員長

- ・現実的なところを吸い上げて反映させていくのは、特に皆様のご意見を拝聴することが必要である。個々の事業施策の周知、理解は、地道にやらなければ難しい。今後のご意見があればお寄せいただきたい。
- ・僕のコメントですが、省略して意味が分からない部分がある。より良い見直し内容を慎重にご対応いただきたい。

<指標の追加について事務局より資料3-2説明>

#### 委員

- ・区民へのPRや広報が必要であると思う。うちの商店街は桜まつりということで、千円の領収書をもってくると、サクラの苗木を100鉢配布しているが、30分で無くなるくらい好評で関心がある。
- ・みんなで大田区をきれいにしましょうという広報をしていただくと、事業が盛り上がってくる。

## 委員長

- ・特に異論がなければ、目標の追加ということで良いでしょうか。

(一同無言で同意)

## (4) 平成 27 年度の主な事業について

<事務局によりパワーポイント資料説明>

### 【質問・意見等】

#### 委員

- ・話を聞いて、初めて知るような所が多く敬意と感謝を申し上げる次第で、多くの方が同じような感覚をお持ちではないかと思えます。

#### 委員長

- ・平成 27 年度の主な事業についての概略を聞いたが、質問は後日ご連絡をいただくということで宜しいか。

#### 委員

- ・18 色の事業が少しずつ進んでいると聞いて嬉しく思う。
- ・18 色の事業はお花のない地域、緑のない地域こそ必要だ
- ・先日も、犬のフン対策として道路にとうがらしの粉を撒く異様な光景を見た。そこは本当に緑もなく、お花も側に置くことはしていない。
- ・緑が多いと道路にも意識をもって来て、汚れるとすぐに掃くとか、地域の考え方も全然違う。
- ・地域の意識を変えるきっかけとして、花の少ない公園の中に（地域の）お花を増やしたらどうか。
- ・私たちができる事は、種を蒔いたり耕すことなので、出来る範囲で一生懸命やりたい。本当に緑のないところの道路を綺麗にするためにも、この 18 色は生きていくと思う。

#### 委員

- ・18 色ですが、地域ごとに大田区は特徴があり、同じように考えることができないので、各出張所中心に 18 というように考えて始めたことだと思う。
- ・私が属している出張所は、お花の好きな方が集まって、自主的な検討会を、地域協議会のようなものへと発展させていき、これからもどんどんやっっていこうと、非常に前向きな姿勢になっている。
- ・高まった地域の関心をお花ばかりではなくて、保護樹木とか、保護樹林とか名木百選とかも、ある程度 18 色のように地域を中心にする、関心があるメンバーたちも、緑や環境までに意識が向くと思う。

- ・名木百選も以前専門業者が調査したが、そういうのも、ある程度地域の住民と共に行うと、自分たちのまちの緑にもすごく関心が広がると、いま 18 色の緑をやっていて感じている。
- ・環境全体に結び付けていくコアメンバーを取り込んでいくのも、良いと思う。

#### 委員長

- ・私も同感、その通りだと思う。

#### 委員

- ・このまま 5 年先、10 年先、このままで良いのかという問題がある
- ・呑川も、今度の予算でどうにか動き始めたかなという感じがして前進だと思うが、上流からの問題について、2020 年のオリンピックまでこれで良いのかと都へ強く働き掛けてもらいたい。

#### 委員

- ・いま平成 27 年度の事業について、それぞれの課から報告されたが、私が今まで緑の基本計画で接している自治体で、これだけの課が出席しているような機関は大田区しかない。
- ・(上位の) 総合計画が変わったらグリーンプランの指標にも連動して変わってきているという事も含めて、全員が一丸となって連携している所も素晴らしいと思う。羽田空港の話もあったが、降りる飛行機から大田区がどう見えるのか、花とか緑とかでローマ字で「Ota(大田)」と描くとか、区民でオリンピックに向けて大田区をアピールできる。来年の見直しの時に、うまく入れられれば良いかなと思う。

## 5. 閉会

#### 事務局

- ・本日お仕事の関係で欠席された〇委員から、メールで「蒲田駅の西口、南口を中心として、〇委員と連携を図りながら、NPO主体で企業参加型の花壇整備の取組を行う」というご報告がありました。
- ・「企業が参加しやすいような継続的なご支援を大田区から頂きたい」と、コメントを頂いております。
- ・また、3月26日頃までにご意見ご質問等がありましたら、事務局へ宜しく申し上げます。
- ・次回、第13回推進会議は、スケジュールの通り、6月下旬から7月頃を予定しております。具体的に日時が決まりましたら、ご連絡させていただきます。
- ・第13回の会議の内容は、「グリーンプラン中間見直しの素案」を皆さんにご提示し、検討して頂ければと思っております。
- ・本日配布しました『大田区の環境』についてですが、「25年度の主な取り組みと事業評価がまとまりましたので、後程ご覧いただきたい」とのことです。ご一読頂ければと思っております。